

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	現在、避難訓練を年間2回行っているが昼間の設定の訓練と避難訓練のシュミレーションを行い二回としている。確実に2回以上避難訓練を行い職員、利用者さんに訓練の大切さをわかっていただく。	現在、昼間の設定のみの訓練のため夜間設定の訓練を行えるようにし二回以上の避難訓練を行えるようにすること。	夜間の避難訓練を消防署のアドバイスを頂き時には協力を得て行えるようにする。夜間訓練のシュミレーションもしっかり計画を立てて行う。	12ヶ月
2	49	現状、開設より11年経ち入居者さんの介護度も上がり歩行困難車椅子対応が多くなり、一人一人のその日の希望に沿った戸外に出かけるよう支援が難しくなっている。	近くにデイサービスセンターができ車椅子対応の車両も増えたのでできる限り増やしていきたい。	職員だけでは手が足りないので家族様にたくさん声かけをして協力を仰ぎ、ボランティアを探し対応していく。	12ヶ月
3	20	開設より11年経ち入居者さんの馴染みの人や場所が段々無くなっていき関係が途切れてしまうことが多くなってきている。	月日が経つに従い関係が途切れてしまうことは仕方ないができる限り関係が途切れないうよう努力する。	馴染みの場所や人がなくなっても写真等で保存しその映像を使い回想療法とうで関係が途切れないうよう試みたり、現存の馴染みの人場所がある限り支援を努力する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。